ing Kyo

古典の日

十一

松島

奥の細道

松尾芭蕉

抑事ふりにたれど、松嶋ハ扶桑第一の好風にして、をよそ洞庭・西湖を恥ず。東南より海を入て、江の中三里、浙江の潮をたゝふ。嶋〳〵の数を盡して、欹ものは天を指、ふすものハ波に匍匐。あるハ二重にかさなり、三重に畳て、左りにわかれ、右につらなる。負ルあり、抱ルあり、児孫愛すがごとし。松のみどりこまやかに、枝葉汐風に吹たはめて、屈曲をのづからためたるがごとし。其気色窅然として、美人の顔を粧ふ。千早振神の昔、大山ずみのなせるわざにや。造化の天工、いづれの人か筆をふるひ、詞を盡さむ。

日本三景のひとつとなっている松島は芭蕉も訪れた（宮城県松島町）＝芭蕉庵ドットコム提供

新編日本古典文学全集第71巻・松尾芭蕉集②『紀行・日記・俳文・連句編』（小学館刊）から転載。校注者・井本農一、久富哲雄

洞庭・西湖に負けぬ松島

芳賀徹さん　とたずねる　おくのほそ道

11

「おくのほそ道」の序の章では、すでに「三里に灸すゆるより松嶋の月先心にかゝりて」と述べられていた。旅の出発の当初から、松島（と平泉と象潟）は芭蕉の詩的憧憬の一つの焦点だった。それゆえか、元禄二年五月九日（陽暦六月二十五日）ついに目のあたりにした松島の景を語るこの一章は、前後と文体を異にして、詩心の昂揚をあからさまにしている。

仙台を出てここに到るまでには、多賀城址で天平宝字六年（七六二）に建てられた壺碑、つまりうつろいやすい多くの歌枕と違って「うたがひなき千歳の記念」を前にして、そこに「古人の心を閧す」思いで感慨にふけった。塩釜では、再建された明神の社が高い石段の上に朝日を浴びて輝くのに詣でて、このような僻地にまで神霊が明るくあまねくいますのは、さすが神国日本と感激もした。そしてその日、「日既午にちかき頃、塩釜から船で松島に渡ってきたのである。

ここまでは、文章に緩急の差はあっても普通の紀行文だった。それがこの松島の章に入ると、「抑事ふりにたれど松嶋は扶桑第一の好風にして」と、にわかに調子が高くなり、「高く聳える島は天を指し、低い島は波に腹ばう…」といった対句を連ねて、いわばアレグロで展開する散文詩の一曲となる。曾良の随行記によればこの日は「快晴」だったという。そのゆえもあってか、アレグロの終局には「この佳景に人は陶然として、かの美女西施の化粧した顔のあでやかさを思う」とまで言い切る。

この「美人の顔」の比喩が蘇東坡の「西湖」の詩に由来するように、芭蕉は松島を前にしてしきりに中国古来の名勝を連想し、それとの対比をせずにはいられなかった。松島は洞庭、西湖の美に恥じぬと言い、この広大な入江を満たすのは浙江（銭塘江）河口のと同じ満々たる潮だとも言う。日本の国土の美を讃えるとき、奈良朝以来、日本の詩人文人はそれを中国の詩画に知る名勝に見立てるのを習いとしてきた。芭蕉もまたこの系譜につらなる和漢の教養の人だったのである。

親しむ

古典と私

追体験できる京の楽しさ

龍谷大学女子名誉教授　谷　寿さん　同志社女学院

千数百年もの永きにわたって国家の中心であり続けたがゆえに、京都では多くの古典（文学のみならず絵画、彫刻、芸能ほか）が生成され、年中行事や祭礼などが連綿と続き今日に至っています。まさに京都は「古典のみやこ」です。

東国に生まれ育った私が大学から京都に移り住んで半世紀。「東男の京上り」よろしく名所旧跡や発掘調査などで眠りから覚まされた史跡を見て廻る暮らしにどっぷり浸かり、至福のときを過ごしてまいりました。

まさに「都ほとり」の喩えではないですが、見聞も自ずと広がったのではないかと喜んでいます。

あの藤原道長が、そして紫式部が千年前に同じ京都で暮らし、政権を担い、小説を書いて華やかな貴族社会をリードしたことを思うと、時空を越え、心躍ります。

春の東山を見上げては清少納言の観察に迫り、暑い夏には吉田兼好の家観に頷いてしまいます。その気になれば、すぐにでも古典の現場に赴いて追体験が叶うのも京都です。

古典は心を豊かにしてくれる特効薬。そんな古典に親しみ、潤いある生活を送ってほしいものです。

古典文学・文化を広めようと、古典の日推進委員会は11月1日を「古典の日」と定めた。

文学ウオーク

悲恋の武人 出家し、歴史に名を刻む

恋の成就はいつの世も難しい。浄禅寺にある恋塚（京都市南区上鳥羽）

京都市には、文覚上人が袈裟御前の菩提を弔うために建てたと伝わる寺が二つあります。浄禅寺（南区上鳥羽）と恋塚寺（伏見区下鳥羽）です。どちらにも袈裟御前を供養したと伝える恋塚（五輪塔・宝篋印塔）と恋塚碑があり、本堂には袈裟御前の木像がまつられています。

鳥羽離宮の警護に当たっていた北面の武士、遠藤盛遠は武芸に優れていましたが、無骨を絵に描いたような人物でした。

ある日、袈裟に心を奪われた盛遠は結婚を迫ります。進退きわまった袈裟は一計を案じ「今宵、夫に髪を洗わせ、酒を飲ませて寝かせるので、夫の首をお討ち下さい」ともちかけます。喜び勇んだ盛遠は深夜、袈裟の夫、渡辺渡の屋敷に忍び込み、濡れた髪である事を確かめ、眠っていた渡の首を討ちます。

ところが、月明かりで目にしたその首は、あろう事か袈裟の首でした。己の非を悟った盛遠は、髪を下ろし出家、名を文覚と改め修行の道に入ります。後に文覚は伊豆に流されていた源頼朝に平家打倒の挙兵を勧めたり、頼朝の助力で衰退していた高雄の神護寺を再興しています。

ちなみに袈裟御前と盛遠の話は、カンヌ映画祭グランプリ受賞作品「地獄門」の題材にもなりました。

（ＮＰＯ法人・都草　團　道代）

国立京都国際会館にて共同宣言を発表

日本の森を守る京都サミット

～次世代へ美しい健全な自然を引き継ごう～

多様な生物の生息の場であり、私たち人間にも癒しと安らぎを与えてくれる『森』は、
古代から今日まで続くかけがえのない「文化」です。
京都銀行は、森づくり活動の地銀ネットワークである「日本の森を守る地方銀行有志の会」の
コアメンバーとして、美しい健全な森林を次世代に引き継いでいくための活動をしています。

日本の森を守る
地方銀行有志の会
SAVE THE FOREST IN JAPAN

世界文化遺産「糺の森」での記念植樹

12月4日（金）に、64行全ての地方銀行が参加して『日本の森を守る京都サミット』を開催しました。世界文化遺産 糺の森で記念植樹を行ったのち、京都議定書が採択された国立京都国際会館において議論を重ね、共同宣言を発表しました。
私たち地方銀行は、各地域の特性に応じた課題解決のための活動をそれぞれの地元において展開すると共に、その諸活動を全国に広げ、日本の森を守り、そして更に育んでいくことを目指します。

飾らない銀行
京都銀行
http://www.kyotobank.co.jp/

地元協賛企業

アークレイ
イシダ
オムロン
川島織物セルコン
京セラ
京都青果合同
サンコール
三洋化成工業
ジーエス・ユアサ コーポレーション
島津製作所
写真化学
第一工業製薬
大日本スクリーン製造
宝ホールディングス
トーセ
ＴＯＷＡ
ニチコン
日新電機
ニッセンホールディングス
日本写真印刷
日本新薬
日本電産
日本輸送機
ファルコバイオシステムズ
堀場製作所
村田機械
村田製作所
ユーシン精機
ローム
ワコール
ワタベウェディング
（50音順）